

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービス As iz 小岩教室

記入年月日:令和 8 年 2 月 4 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		一人当たりの面積はもちろん、備品等のレイアウトによる環境構成も工夫を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか			4	基準は満たしているが、より手厚い支援のため数を増やして配置を検討している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			職種や雇用形態にとられず、職員全体が参画している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			4	開所年度に当たるため過去の評価アンケートは今回が初の実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			4	開所年度に当たるため今回が初の公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	今回が初の公表かつ現在は保護者の方の評価と社内評価のみだが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			社内研修を通し各種マニュアル、支援方法、提供記録の書き方等についての研修の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	9	支援の質の向上を図るため、研修や学習の機会が確保されているか	4			社内研修、法定研修、外部研修(特性を踏まえたアプローチ方法や具体例の共有等)を受講。引き続き研修への参加を推奨し尚且つ事業所への落とし込みに注力していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントシートを活用し、保護者や児童のニーズを汲み取り個別支援計画を作成している。必要に応じて発達検査の結果や他事業所の個別支援計画を共有いただき参考にしている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			支援システムのアセスメントツールだけでなく、事業所独自にアセスメントシートを作成しており、その内容は5領域はもちろん、家庭や学校等の状況把握、児童の得意不得意、配慮すべき点等も盛り込んでいる。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			プログラムの内容は日々の利用児童の特性を踏まえうえて工夫を行い、職員全体で考案している。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			季節に合わせた活動や長期休暇等は普段できない余暇活動を取り入れるようにしている。平日の活動内容に関してはさらに工夫が必要だと感じているため、今後検討が必要。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		課題設定を詳細に行うことは今後の課題と感じている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			主には集団活動を設定しているが、個々の特性やニーズに応じて個別での活動を取り入れる工夫を行いながら個別支援計画も作成している。
	16	放課後等デイサービス計画に基づき、支援を実施しているか	4			支援前に利用児童と個々の特性を確認したうえでその日の支援内容を考案、実施している。
	17	放課後等デイサービス計画に記載した目標が達成できているか	4			個々により達成状況は異なるが、児童によって達成できている。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			支援前の時間に全体MTGを行い、その日の利用児童の確認と特性を踏まえた活動内容、役割決めを行っている。
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			送迎終了後に職員全体で振り返りと次回に向けた反省を行っている。気付きや課題、反省点等を確認し翌日の全体MTGで共有を行い記録し、内容によっては仮説と検証を行っている。	
20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			基本的には6か月に1度のモニタリングを行っているが、場合によっては6か月以内に行う機会を設けている。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立てる工夫を行っているが、より質を高めていく必要性を感じている。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			開催される場合には管理者または児童発達支援管理責任者など、適任者を選び出席している。
	24	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		3	1	保護者を通じて情報共有を行っているが、不足している点も多く今後連絡フローの整理を行っていく。
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現状、医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	就学前の保育所や要離縁等との情報共有は行えていない。相談支援事業所等の担当者と情報共有を適宜行っている。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する対象児童が現状はいないため行っていない。
	28	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			4	地域の支援センターが開催する研修に参加している。受講の頻度は今後増やしていきたい。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	
	30	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4	現状、協議会への参加はしていないが、要請があれば参加する体制を整えている。江戸川区の事業者連絡会に参加している。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			日常的に状況をシステムや送迎時に保護者と共有している。必要に応じて個別に面談の機会を積極的に設けるようにしている。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	保護者向けの研修会等は現状行えていないが、今後は保護者交流も含め機会を設けていきたい。
保護者への説明責任等	33	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に必ず説明を行っている。
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			定期的なモニタリングのタイミングで面談を行い、個別の相談があった場合や事業所として必要性を感じた際に面談を打診する等して相談支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	保護者会等の機会は現状設けることができていないが、今後は父母会等の保護者同士の繋がりをつくる機会を設けていきたい。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			受付担当を設ける等して苦情対応の体制を整えている。また、苦情対応マニュアルも整備している。重要事項説明書に記載し、保護者へは契約時に説明している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			4	現状として会報の発行は行っていないが今後は定期的な発信を行う工夫をしていく。
	38	個人情報に十分注意しているか	4			個人情報に記載されている書類等は施錠できるキャビネットでの保管を行っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			視覚的にわかりやすいイラストや写真、絵カード等を日常の中で活用している。個々の特性に応じて意思疎通の方法を児童や保護者に合わせるようにしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	現状は行えていないが、行事の一環として地域住民や児童の家族(兄弟児等)が参加できる活動内容を計画する提案等も職員から出ていることから、今後は計画、実施までを行っていきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各種マニュアルを整備している。保護者への周知は行えていないため、今後HP等を活用し周知を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			児童を含めた避難訓練の実施に加えて職員間での社内研修、訓練を年間計画に沿って実施している。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			適宜研修等を実施している。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束に関しては、利用児童の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識としている。保護者には契約書に記載し説明している。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制がある。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		アレルギーの有無、詳細をアセスメント時に必ず確認するようにしている。有無、配慮、留意点等に関しては職員全体が確認できるよう専用のシートで一覧化している。
46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			事例があった場合には全体MTGで共有、ヒヤリハットの作成を行い、職員全員が確認できるよう専用のシートにて記録しているがシートの活用がうまくできていないため改善の必要がある	